

①「赤石」「自然テルル」「掛川層群大日層の貝化石群」は、それぞれどこにありますか。

赤石

[]

自然テルル

[]

掛川層群大日層の貝化石群

[]

静岡県選定の石



日本地質学会

日本地質学会 井龍康文会長は10日、全国47都道府県で発見、採取された岩石、鉱物、化石をそれぞれ「県の石」として選定して公表した。本県では、岩石に富士山の宝永山火口の「赤岩」、鉱物に下田市の河津鉱山の「自然テルル」、化石に掛川市から袋井市の北部にかけて分布する「掛川層群大日層の貝化石群」が選ばれた。



宝永山の赤岩（静岡大防災総合センター 小山真人教授提供）

自然テルルを含む河津鉱。左上の黒い粒状の物質が自然テルル（ふじのくに地球環境史ミュージアム提供）

赤岩は赤褐色の火山灰や小石が積み重なった層。1万年数千年前（707年）に伴う隆起によって表面に現れた。自然テルルは石の中に埋まっている。自然テルルの結晶で、金属の光沢がある。1970年に河津鉱山で初めて発見された新しい鉱物「河津鉱」に含まれる。掛川層群大日層は約200万年前に浅い海域で堆積した砂と泥の地層。絶滅種のモミジツキヒガイなど多くの海生生物の化石が含まれている。



掛川層群大日層から産出した貝化石（向ミュージアム提供）

（東京編集部・中川琳）

②富士山の噴火に関係のあるのは、どれでしょうか。

[]

③「自然テルル」とは、どのようなものなのでしょうか。

[]

2016年5月10日 夕刊

年 組 名前

（小学校高学年、中学校、高校 理科）